



# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2653回 例会

プログラム

落語を楽しもう

No. 2505 2月18日(木)

次週以降の予定

2月25日(木) マラウイの現実(講師)

3月4日(木) 会員卓話

3月11日(木) 趣味を仕事に

## 第2651回 例会報告

2010年 2月4日(木)

### 会長挨拶・報告



雪の多い日が続いておりますが、会員の皆様には雪はねで大変ご苦労されていると思います。今日は、会員の皆様に今後の特徴的な例会並に主なスケジュールをご紹介します。2月18日(木)落語例会であります。滝川西高出身の春風亭鯉枝(本名渡利哲也)様を迎えての楽しい例会であります。次に4月14日(水)GSE受入での夜間例会でスウェーデンより4名の皆様に歓迎する例会です。5月13日(木)観桜会夜間例会ですが、RI会長でありました田口良一氏をお迎えしての観桜会にしたいと計画しております。次に5月22日(土)は砂川RC40周年記念式典であります。90名の登録を予定しておりますので会員のご出席をお願い致します。6月20日～6月22日RI国際大会がモントリオールで開催されます。会員の皆様には、ご案内を申し上げておきたいと思っております。

### ロータリーの友紹介

#### 先週のプログラム

《国際奉仕委員会担当ゲスト例会》

ゲスト卓話



坂本和繁委員長挨拶

本日は、滝川国際交流協会より山本亜希子様、平松みどり様のお二人をお迎えしての例会です。以外と知っているようで知らないアジアについて、特に今日はベトナム・カンボジアについてスライドを見ながらお話を聞きたいと思っております。

### 幹事報告



1. 芦別・羽幌・深川RCより2月のプログラム、赤平・芦別・深川・羽幌RCより会報届く。又、ガバナー月信2月号購読者の各ロッカーへ。  
2. ロータリー友事務所より、次年度のロータリー手帳予約のご案内がまいりました。詳細は掲示板に貼っておりますので、ご希望の方は今月22日までに事務局へお申込み下さい。  
3. 本日、午後6時30分より第14回定例理事会を開催致します。役員・理事の方は、出席をお願い致します。尚、会場ですが2階のカトリアに変更となりましたのでお知らせ致します。  
4. 来週、11日は法定休日の為、例会は休会となります。お間違えのない様ご注意ください。  
5. 先週の例会で皆様よりご協力いただきましたハイチ地震の義援金36,000円を先日送金させていただきました事を報告致します。有り難うございました。  
6. 前期会費がまだ未納の方は、お早めに振込みいただけますようお願いいたします。

《滝川から世界へ世界から滝川へ》

～ベトナム・カンボジアスタディーツアーから～



滝川国際交流協会 山本亜希子様

ただ今、ご紹介に上がりました(社)滝川国際交流協会の山本と申します。このような場所でお話をさせて頂くのは初めてで、大変緊張しております。お聞き苦しい点もあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願致します。

### 伝達式

(財団) マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

篠島 弘会員(7回目)

鈴木忠男会員(4回目)

川口義弘会員(2回目)



(社)滝川国際交流協会とは？

それでは、まず、(社)滝川国際交流協会の概要についてお話しさせていただきます。

当協会は、市民を主体として国際的文化の創造と街づくりに寄与することを目的に平成2年に設立されました。本日はベトナム・カンボジアスタディーツアーのお話をしたいと思います。

当協会では、開発途上国を実際に視察し、「国際協力の現場を知ってもらうこと」、そして「本当に必要な支援とは何か」について考える「スタディーツアー」を毎年1回、実施しています。

平成15年から19年までの4年間は「アフリカ・マラウイを知る」スタディーツアーを実施し、延べ23名の方々が参加して下さいました。今年度は、当協会初となる「ベトナム・カンボジアスタディーツアー」を実施しました。これは、昨年5月に開催した「世界を知る講演会」にカンボジアの孤児院でボランティア活動を行っている、元滝川市民で、菅原剛太郎先生の病院に勤務されていた、鈴木保道さんをお招きしたこと、2年前に「カンボジア理科数教員」の皆さんが、そして昨年度にベトナムの高校生が来滝したことなどから、「ベトナム・カンボジア」をぜひ訪れたいと、会員の皆様からの熱烈な要望を受け、実現したものです。

### 委員会報告

神部代表幹事

RI3700地区大会(韓国)参加のご案内是非とも多くのメンバーのご参加を谷口会員が私神部にお申込み下さい。



#### 「ツーツー病院平和村」を訪問した時

「ツーツー病院平和村」はベトナム南部最大の産婦人科・小児科病院と枯葉剤の影響を受け、障害を負った子供達の治療と保護を目的として1990年に建てられました。

すでにお気づきの方もいるかもしれませんが、写真中央にいるのは、日本医師団の支援を受けて、分離手術を行ったベトナム・ドクさんのドクさんです。ドクさんは現在、この病院の職員として勤務しています。

ベトナム戦争終結後から30年以上経った今でも、枯葉剤の被害に苦しんでおられる方がいるという現実大変驚くと共に、改めて、戦争の非人道性について考えさせられました。

#### FFSCストリートチルドレン友の会

同じくベトナムのNGO「FFSCストリートチルドレン友の会」を訪問した時の事。

このNGOは家庭環境の事情等により、学校に行くことができず、路上で物売りや物乞いをしている子供達を保護し、教育の機会を与え、職業訓練なども行っている団体です。

日本人の支援者がとても多いこと、また日本人のボランティアが在中していることもあり、私達が訪問すると、子供達が「チューリップ」や「ぶんぶんぶん」などの日本の童謡を歌って歓迎してくれました。

カンボジアやラオスなどの周辺国と比べ、格段に発展していると思っていたベトナムでしたが、ストリートチルドレンや年々広がる都市部と農村部の生活格差など、これから取り組まなければならない課題を少しですが垣間見た気がしました。

滝川高校卒業生の田中千草さんは、2007年から2009年の2年間にわたって、ワット・ポー小学校に青年海外協力隊員として派遣されていました。

カンボジアの授業では、音楽や体育と言った情操教育が行われていないのが一般的です。ワット・ポー小学校でも千草さんが赴任する3年前までは、子供達は音符を読む事も楽器をひく事もできませんでした。楽器もない中、田中さんは地元である芦別市の友人・知人に声をかけ、不要になったピアノやリコーダー等を送ってもらい、仲間の先生達と一緒に手探りで音楽授業を始めていきました。田中さんの着実な指導が徐々に実り、現地の教員の意識も変わり始めた頃、田中さんの協力隊員としての任期は切れ、日本に帰国しなくてはいけなくなりました。そこで、ワット・ポー小学校の先生達は、田中さんに戻って来て貰える様に積極的な活動を行い、1万人以上の署名を集めました。これに心を動かされた田中さんは、現地の教員と同じ月給40ドルで、国家公務員である教員としてカンボジアに戻ることを決意され、カンボジアの明日を担う子供達の教育に力を注いでいます。

#### ワット・ポー小学校の子供たち

カンボジアの小学校は原則無料ですが、生徒には制服の着用が義務付けられています。つまり、制服が購入できない子供達は学校に行くことができません。国から1人あたり年間1.5ドルの補助金が支給されますが、制服の他にも、鉛筆やノート等を購入する必要があり、この程度の補助金では、貧困家庭の子供達が学校に通うことができないのが現状です。又、元滝川市民で、当協会会員の鈴木保道さんが同センターでボランティア活動を行っていること、また、「老人クラブ友の会」の会員の皆さんが、同孤児院へ文房具や地球儀などを寄贈する独自の活動を行っていることから、今回の訪問が実現しました。

今回私達は、SCSAセンターへ豚小屋の建設と施設の周辺整備のための資金として、講演会時の募金や、チャリティー

バザーの売上金、さらに鈴木氏と親交の深い、滝川マラウイクラブからの寄付金、合わせて16万8千円を寄付させて頂きました。

#### 孤児院での豚小屋づくり

また、SCSAセンターでは豚小屋作りと豚小屋に取り付ける看板作りも行いました。ツアー出発前に、現地で活動する鈴木さんに「何か現地の人と一緒に作業ができて、思い出になるようなことはできないか？」と相談したところ、丁度豚小屋を建て変える予定だったので、今回のツアーに合わせて、豚小屋の建設を行って頂きました。豚小屋作りといっても、すでに外枠は出来上がっており、乾燥したバナナの葉を湿らせた木のツルでくりつけていきます。豚小屋作りは、主に男性陣の仕事だったのですが、普段から何でも自分達で作ってしまう、高い技術を持った農家の方が多かったこともあり、気温35度を越す炎天下の中、かなりのハイペースで、豚小屋が作られて行きました。

以上で、私の発表を終わります、どうもありがとうございました。



## ニコニコBOX

鈴木 忠男会員

マルチプル・ポール・ハリス・フェローの表彰を受けて。

篠島 弘会員

7回目のマルチプル・ポール・ハリス・フェローの表彰を受けて。

細田 光人会員

家族が一人増えて、ニコニコ顔。

石黒 安雅会員

久しぶりに出席出来て。長男に初めて娘が出来て、これで3人の孫になりました。

富樫 悟会員

鷲尾会員の発行する新聞広告に、当社を紹介していただいて。

安立 徳章会員

結婚記念にお祝いをいただき。

坂本 和繁会員

担当例会を終えて。

会長/川口 義弘

幹事/竹田 行宏

編集/クラス会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp

ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM 0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



グリーンマーク

クラブ会報は再生紙を使用しています。